



第1回目の様子

ご家族向け介護セミナーを開催しました。

6月17日(水)に講師 高 謙一郎先生、ファシリテーターとして理学療法士の吉田 史佐男先生、太田 元先生をお迎えし「介護で腰が痛くならないために」というテーマで、セミナーを開催いたしました。専門家からの講義だけでなく、正しい知識と技術を身につけていただくため、等身大の人形等を使っての実践講習も行いました。日頃、様々な介護への不安やお悩みの解決の一助として役立つセミナーになればとスタッフ一同願っております! 次回の開催は8月19日(水)です。



July

活動報告

今、センターでは…

7月活動報告

- 7.8(水) 「ご家族向け介護セミナー～身につけよう!床ずれ予防とケアのコツ～」(市民対象)を開催しました。
- 7.11(土) 総合診療力向上講座「高齢者・身体診察①」を開催しました。(中面をご覧ください。)
- 7.14(火) 平成27年度「プレントラスト会議」食支援Partを開催しました。(中面をご覧ください。)
- 7.18(土) 京都府医療トレーニングセンター在宅医療実地研修「在宅でのがん化学療法と副作用の理解」(医療・介護従事者対象)を開催しました。
- 7.22(水) 「ご家族向け介護セミナー～あきらめていませんか?尿のトラブル～」(市民対象)を開催しました。
- 7.25(土) 生活機能向上研修「ACPについて」～ACPの概念・必要性・普及への取り組み～を開催しました。(中面をご覧ください。)
- 7.27(月) 第2回 京都市認知症総合支援事業アドバイザーボードを開催しました。

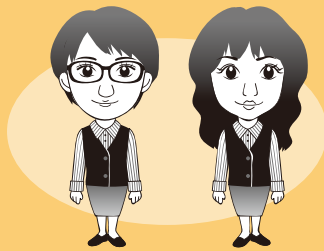
8月の活動予定

- | | | |
|-----------------------------|--|------|
| 8.1(土) | 第2回 京都在宅医療戦略会議 | 会場 B |
| 16:00～18:00 会議 / 18:00～ 懇親会 | | |
| 8.19(水) | 「ご家族向け介護セミナー
お口のにおい気になりませんか?」(市民対象) | 会場 A |
| 8.26(水) | 「ご家族向け介護セミナー
知ってためになる胃ろうの管理」(市民対象) | 会場 A |
| 8.29(土) | 主治医研修会(北部会場) | 会場 C |
| 14:00～17:00 | | |

会場 A 京都府医師会館 5F 京都府医療トレーニングセンター B 京都センチュリーホテル C 舞鶴西駅交流センター 大ホール

編集後記

晴耕雨読のこの季節。読書が大好きで月に2度ほど図書館に行って、たっぷり本をお借りしていたのが、ほんの数年前。なぜか最近、読む気力が湧いてこず、本を開けてもすぐにウトウトしてしまうありさまです。原因は何でしょう。疲れ?老眼?(信じたくない現実!) 気力の低下?いいえ。スマホです。スマートフォン!ふとした事が気になり、すぐにネット検索。フェイスブックの閲覧や友人とのLINE。占い、野球中継にショッピング…。1時間なんてあっという間で、気が付けば深夜になっている事も。お盆休みには、せめて流行の本でも読んでみましようか。『スマホばかり見てると、勉強しいや!!』と高校生の息子を叱責する前に…。



お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6074

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol. 3

2015年8月1日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館 3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6074

在宅医療とは?

在宅医療とは、と問われると、「訪問診療」「寝たきり」「終末期」「在宅療養支援診療所」「介護保険」「多職種協働」等、ほかにも様々な言葉を思い浮かべると思います。しかし、最近は「地域包括ケアシステム」という言葉が中心になってきています。地域包括ケアシステムについては種々の意見がありますが、地域包括ケアシステムを上手に利用することにより、よりよい社会状況を生み出すことも可能かと思えます。在宅医療は地域包括ケアシステムの中の一つでもあり、今まさに迫っている多死社会への医療提供側の最重要事項です。在宅医療は政府の思惑の中にある、入院に代わる安価な医療では決してありません。つまり、在宅医療は患者・家族のニーズ、医療提供者・介護提供者等の要因など種々の要素の上に成り立っていて、関係者間の良好な関係性がなければ成立しません。在宅医療が阻害されている要因の一つに、医療提供側の準備不足もあるのではないかと考えています。

そこでまず、我々医師が在宅医療においてどのようなことまでできるのか、我々自身が知っておくことが大切です。昔取った杵柄で出来ることもあれば、僅かな知識と技術の習得で出来ることもあれば、十分な知識と訓練が必要な場合もあります。このため府医においては、平成24年度より医師それぞれの知識や技術の獲得を目指し、在宅医療の知識・技術の獲得のための研修事業に取り組んできました。この度は地域医療介護総合確保基金により予算が出ましたので、今年度はヴァージョンアップしより一層体系化しました。

各名称は次のごとくです。

「総合診療力向上講座」「京都在宅医療塾Ⅰ」「京都在宅医療塾Ⅱ」「生活機能向上研修」「難病研修」「京都府医療トレーニングセンター・在宅医療実地研修」です。詳しくはセンターnewsをお読みいただければお分かりになるかと思えます。

今年度第一回となる「英国式人生の最終段階におけるケア」には150名を超える参加がありました。これは取りも直さず先生方はじめ、在宅医療・地域包括ケアに携わる皆様の意欲の表れだと思います。府医においては、一人でも多くの先生に一人でも多くの患者を在宅で診ていただくことが超高齢社会・多死社会の対応になると考えています。牽いては勤務医の疲弊を防ぐことにもなります。

今後の研修会にも引き続きのご参加お待ちしております。

京都府医師会 理事 關 透

第1回 総合診療力向上講座を開催いたしました！！



7月11日(土)14:30～16:30 京都府医師会館3階310会議室において『第1回総合診療力向上講座』が開催され、開業医だけでなく、勤務医、研修医を含め228名の先生方にご参加頂きました。

第1回目は高齢者の感染症、急性腹症、発熱など、疾患に伴う身体所見とデータや文献での裏付けを基にした診断方法、高齢者特有の加齢に伴う症状などについてご講演いただきました。疾患特有の症状が現れにくい高齢者の診療において、日常の診療場面での身体診察の方法や身体所見についてエビデンスと共に具体的な事例が示され、学びの多い実践で生かせる講演内容でした。アンケートの中には「エビデンスに裏付けられた正しい診察法を駆使することで、特殊な機器を使うことなく診断に役立つので、一般の外来診療や在宅医療にすぐにでも生かせそうです」と感想をいただきました。

質疑応答でも、診断の難しい高齢者の尿路感染の診断で有効なCVA叩打痛の具体的な誘発方法についての質問には実演でお答えいただきました。3年目の病院勤務の医師や、高齢者施設で診療されているキャリアの長い医師からも質問があり、また会場からは専門医としての回答をいただくなど、活発に意見交換を行うことができました。

「地域をつむぐ医療文化」を語る会を開催いたしました！！



2015年6月18日(木)18:00～19:30 京都府医師会館において国立長寿医療研究センターと共催で、英国Gold Standards Framework(GSF代表)ケリー・トーマス教授をお招きし「英国式 人生の最終段階のケア」～Gold Standards Framework 戦略～と題し、ご講演をいただきました。当日は雨の中、大ホールが満席に近い155名の方にご参加をいただきました。

ご講演内容は、良質の在宅医療・包括ケアの提供には、チーム医療と多職種協働が求められるという内容から始まり、今後の在宅医療向上に必要な知識、技術についての理解を深めることができました。また、講演最後の質疑も活発に行われ、非常に有意義な時間になりました。

国立長寿医療研究センター在宅連携医療部
千田 一嘉先生、
ケリー・トーマス教授、
ありがとうございました。

詳細は次号
9月1日にて、
ご報告します！！

生活機能向上研修「ACPについて」～ACPの概念・必要性・普及への取り組み～



生活機能向上研修「ACPについて」～ACPの概念・必要性・普及への取り組み～

2015年7月25日(土)14:00～16:00 京都府医師会館において、以下の3テーマで研修を開催いたしました。

- 1)広島県医師会活動におけるACP取組の経緯について
- 2)ACPの概念について
- 3)なぜACPが必要なのか

講師に、小笠原 英敬先生(広島県医師会常任理事)、本家 好文先生(広島県地域保健対策協議会終末期医療のあり方検討専門委員会委員長/広島県緩和ケア支援センター長)、有田 健一先生(広島県地域保健対策協議会終末期医療のあり方検討専門委員会委員/前広島県医師会常任理事)をお招きしました。

当日は西村理事の司会により研修会はスムーズに進行し、多職種の方にも多くご参加いただきました。

ブレントラスト会議「食支援」Part開催報告

2015年7月14日、京都府医師会を含めた10団体からの代表委員で構成した会議を開催し、在宅療養における「食支援」についての相談事業と、研修会の開催などを話し合いました。入院中の摂食・嚥下ケアや栄養指導などを在宅療養で継続し、切れ目のない支援が行えるよう会議を重ねていきたいと考えています。

地区医師会事業ヒアリング始めました！！

平成27年度地区医師会在宅医療連携拠点事業計画書等についての説明やヒアリングのため、各地区医師会へ事務局が訪問させていただいております。事業計画書など、書類等の記入方法などはもちろん、各地区でのお考えなどの事業がございましたら、お聞かせください。

新 担 当 理 事 の ご 紹 介



角水 正道 理事
在宅医療・地域包括ケア対策
担当
(乙訓医師会)



藤村 聡 理事
介護保険関係
担当
(相楽医師会)



近藤 久勝 理事
認知症対策
副担当
(中京西部医師会)

第2回 「総合診療力向上」講座

※ 4回シリーズで
開催いたします。

と き 2015年 9月5日(土)
14:30～16:30

と ころ 京都府医師会館 3 階 310会議室

内 容 テーマ「高齢者・身体診察②」

講 師 洛和会丸太町病院
総合診療科/上田 剛士 先生

対 象 医師 (京都府医師会員、研修医、勤務医、
介護施設等で診療される医師等)

会場が変更
されました。
お気づけ下さい。

研修会のお知らせ

第1回 在宅医療塾Ⅰ ～探究編～

※ 4回シリーズで
開催いたします。

と き 2015年 10月18日(日)
10:00～14:00

と ころ 京都府医師会館 3 階 310会議室

内 容 テーマ「在宅での急性期の対応の仕方」

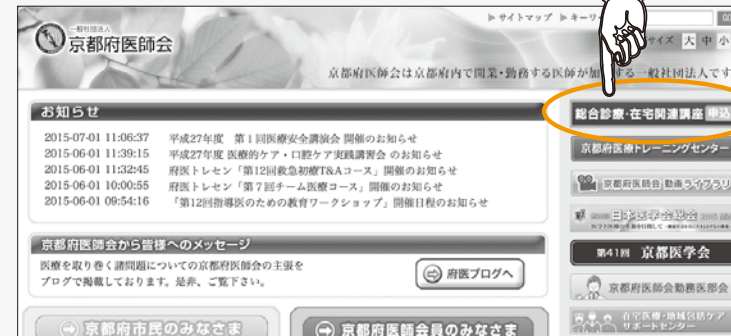
講 師 東京ふれあい医療生活協同組合 副理事長
梶原診療所 在宅総合ケアセンター長 / 病棟医長
オレンジはっとクリニック 所長
平原 佐斗司 先生

対 象 医師 (かかりつけ医、勤務医、在宅医療にかかわる医師
または、興味のある医師、介護施設等で
診療される医師など)
看護職 (訪問看護師、退院調整に携わる看護師、
高齢者施設に勤務される看護師など)

※各会場共、駐車スペースに限りがございますので、公共交通機関でのご来場をお願い申し上げます。

ホームページのお申込みもご活用ください！！

- 1 京都府医師会TOPページ内右側の最上段の「総合診療・在宅関連講座申込」バナーをクリックして下さい。右図をご参照



- 2 左記をクリック頂きますと、受付中の講座一覧画面になります。ご参加頂けます「講座」をクリックして下さい。



<http://www.kyoto.med.or.jp/member/support/index.html>